STOP 斑点米を防ごう!!

このような米はありませんか?

1,000粒のうち
1粒を超えると2等米
3粒を超えると3等米
7粒を超えると規格外
に格落ちしてしまいます。

アカヒゲホソミドリカスミカメ(成虫)
(体長5~6㎜)

アカスジカスミカメ(成虫)
(体長5~6㎜)

オオトゲシラホシカメムシ(成虫)
(体長6~7㎜)

カメムシ類による斑点米防止対策のポイント

草刈りの徹底
6月中下旬と7月中下旬の
一斉草刈り

畦畔雑草(繁殖地)

3週間程度の間隔で草刈りをすることによって、雑草の種子が減り抑草効果があります。そのため、カメムシの増殖が抑えられ、水田に入るカメムシの量を減らすことにつながります。
出穂後も継続して実施しましょう。

水田内の除草徹底

水田内にヒエやホタルイなどが多いとカメムシ類が誘引され、斑点米が多発生する傾向があります。

※刈った草は、用水や河川に流さないようにしましょう。

適期に薬剤散布

粒　剤　出穂期~出穂期7日後

粉　剤
液　剤　出穂期3日後(穂ぞろい期)~出穂期7日後

※カメムシの種類や発生状況、
または使用する薬剤によって2回目の防除が必要な場合があります。
※粒剤は、水深3㎝程度の浅水で散布。多雨が予想される日は散布を控えましょう。

農薬は適正使用を!

★農薬は、ラベルをよく読んで、使用基準(適用作物、使用量・濃度、使用時期、使用回数)を守って使用しましょう。
★圃場外や他の作物への飛散の無いよう注意しましょう!
★農薬による事故が起きないように、一人一人が注意しましょう!

植物防疫魚沼地域協議会
事務局／新潟県農業共済組合 魚沼支所 TEL 025(792)7077

市町病害虫防除協議会・市町・JA・全農にいがた・NOSAI新潟
農薬卸協同組合・地域振興局農業(林)振興部(農業普及指導センター)・病害虫防除所
このチラシの内容に関するお問合せは、お近くのJA・農業普及指導センター・NOSAIへ